

南知多町の地震被害予測結果

(人口22,270人、7022世帯 ※6月末現在)
想定: 東海・東南海地震が連動して発生した場合

発生時刻	早朝	昼間	夕刻
死者	約160人	約50人	約110人
負傷者	約600人	約300人	約480人
避難者	約7400人		
炎上出火		約30件	
全壊		約3,400棟	
半壊		約3,700棟	

(聞き手 内海通信部・下条秀和)

津波避難路図 全戸に

南知多町の対策



南知多町内海 団体職員



家具の転倒防止に本腰

住宅耐震化の主な問い合わせ先

愛知県 名古屋市	県建築指導課 052(954)6587 市耐震対策係 052(972)2921
三重県	県住宅室 059(224)2720
岐阜県	県建築指導課 058(272)1111内3785
長野県	県建築管理課 026(235)7334
福井県	県建築住宅課 077(20)0506
滋賀県	県住宅課 077(528)4235

「一九八一年以前に建てられた木造家屋の無料耐震診断を二年前から進める。だが、昨年までは町内の約50%にあたる約七千棟が全戻りする」とされる。住民の意識はどうか。

「かなりの被害だが、これまでの意図は、木造家屋の無料耐震診断は、北の内海地区からの伊勢湾へ離島の離島への対応など、同町ならではの対策を小久保光郎・町総務部長に聞いた。

「津波の対策は、今、県が一部柵門の設置が船に限らなかった。だが、開港の自動化を進めている。だが、昨年ま

で、対象の約六千二百棟のうち七十五棟が診断を受けただけ。啓発の意味で、町職員の操作訓練を行っている。だが、昨年八月に決定した。例

えば、観光協会は観光客の避難説明に当たるなど、団体組織などのそれぞれの役割分担を決めてお

う。こうした組織は町内にござりますが、わが家も

さすそく食器棚などの家具に転倒の転倒が怖いなと思いました。

現在、鉄骨二階建ての家に夫と住み、入りのベッドボトル五

本を常備していますが、わが家も

防振装置を取り付け、テレビの下にはゼリーフの滑り止めを取り付けています。

このように、わが家の転倒防止は、

本当に全戻りの状況であります。

このように、わが家の転倒防止は、

本当に全戻りの状況であります。